



Workshop

世界子ども水フォーラム・フォローアップin広島

分科会④ 水利用 いつも使う水は どこからくるの

なぜ、水の利用について考えないといけないのかな。
3人のアドバイザーから身近な水の利用を考えるきっかけとして、「地球上には14億から15億立方メートルの水があり、わたしたちが利用できるのはたった0.8%、つまり限りある資源だ」ということから水道の歴史や水質管理、さらに、「川の源流でどのようにして水が生まれるか、水の源は森であること」を説明されました。

3人の話を聞いて、わたしたちは身近な水をきれいにするだけでなく、山や流域のことを頭にいれておく必要があることを知りました。水は循環しているので汚れてしまうと、結局は自分の身にかえってきてしまうんだね。

水は限られた資源なんだ。汚れた水をきれいにすることを考えるより、水を汚さないために身近なところから水の利用の仕方を考えよう。



●ファシリテーター
広島工業大学 大学院
柴田 雄一郎 氏



……で、私たちが考えたこと。

- できるだけ汚さないように使うことと、使った後の水もむだなく再利用する。たとえば、お風呂の水を洗濯に使うとか、歯磨きやシャワーの水を流しっ放しにしないようにしよう。
- 浄化槽が整備されていても、水を汚さないという意識は大切なんだ。
- 雨水やプールの水の再利用を考えよう。
- 食器など汚れをふき取ってから洗うことを、みんながやるといいんだけど。
- 洗剤の使用量を最小限に減らすことも大事だね。
- 環境にやさしいせっけんを使おう。
- 節水して使うことが、水を汚さないことにつながると思うけど。
- 節水する気持ちはあるんだけどなかなかできないのは、何でかなあ。
- 日本にはまだいっぱい水があるんだからと軽い気持ちでいたけど、「資源は限られている」という話を聞いて、節水に取り組もうと真剣に思った。危機感を忘れちゃいけないね。
- 日常生活のなかで、朝から順番に水を使うことをふり返って水の使い方を考え直してみよう。
- 川のごみをなくそう。
- こわれてしまった生態系を再生する努力をしよう。
- 企業もモノをつくるところから考えてほしいよね。
- 日本だけでなく世界に目をむけて、いろんな国の生活や水の利用を知って深く掘り下げて考えていけばいい。
- 一人ひとりが地球に暮らす地球市民であるということを意識して、身近なことからコツコツ積み重ねる。
- 水がどれだけ世界平和に関係しているかを考えよう。

これからも言葉だけでなく個人、個人が水の使い方をよく考えてしっかりと行動していこう。やっぱり、おいしい水、飲みたいよねっ。



●アドバイザー
広島市水道局企画総務課長補佐
尾尻 恵佐 氏



●アドバイザー
広島市水道局水質管理課課長補佐
友安 勇氏 氏



●アドバイザー
多摩川源流研究所所長
中村 文明 氏



●アドバイザー
広島市環境保全課 主幹
盛中 博夫 氏



●アドバイザー
中国地方整備局河川計画課課長
塚原 隆夫 氏

2日目・10/12sun. Fieldwork フィールドワーク



ゴツゴツした岩の間にカワニナがいたっ。夏にはホタルがいるかな。

ヒートマップには水生昆虫や魚もたくさんいて、感動しました。水がきれい美しいのにびっくり。

ダムは生活に困るような事態が起こらないと、その存在が認識されないけど、小さな洪水は減っているそう。ダムのいいところも理解できた。



温井ダム 施設内で説明を受けることも。達。

このダムのために移動した人々に話を聞いてみたい。切られた木はうまく活用されたのだろうか。動物は？みんな、ありがとう。